

CTCきたみ中央まちづくり会

コミュニティ再生講座・資料

協働のまち北見

テーマ:住民協働組織の必要性
平成23年12月3日



時代の背景

大きく変化した社会

↓

- 中央集権から地方分権
- 工業化社会から脱工業化社会
- 高度経済成長から成熟社会



時代のキーワード

- 人口減少化→組織の衰退
- 少子高齢化→長寿社会
- 高度情報化→監視社会
- 地球温暖化→生活スタイル



町内会の主な活動

<環境・美化>

- 公園の清掃・草刈り
- ごみステーションの管理
- 地域墓地の清掃
- 道路、河川の清掃・草刈
- 小規模公園づくり

<防犯・防災・交通安全>

- 夜間の防犯パトロール
- 登下校時の児童生徒の見守り
- 暴力追放推進
- 交通安全啓発活動
- 街路灯の設置、維持



町内会の主な活動

<地域福祉>

- 高齢者、障害者宅の管理
- 独居高齢者の声かけ、見守り

<イベント>

- 地域スポーツ振興行事
- 夏祭り(盆踊大会)
- こども行事
- 新年会
- 花見

<その他>

- 広報誌の配布
- 地域会館の運営管理



町内の現状は

町内会組織の衰退

- 加入率の低下
- 担い手不足
- 役員の固定化
- 単身高齢世帯の増加
- 役割の喪失
- 形式化した年間行事
- 活動の停滞・休止



町内の安心・安全

- 日常的な心配
盗難・詐欺・変質者など
けが・病気・体力低下・介護
- 災害など非常時の不安
地震・落雷・火事・風水害・
崖崩れ・大雪
被災直後の避難・救援救助・救急医療




高まるコミュニティへの期待

- 対応しきれない行政サービス
住民の危機意識
↓
- 公共サービスを担うコミュニティ
市民セクター・新しい公共






高まるコミュニティへの期待

助け合いの復活

- 1995. 1.17阪神淡路大震災
死者6,434人 負傷者44,000人
- 2011. 3.11東日本大震災
死者・行方不明者19,000人




市民自治とは

- 市民の声が活かされるまちづくり
地方自治の本旨
→団体自治と住民自治
- 市民と議会と行政の役割
→北見市まちづくり基本条例





市民参加とは

- 地域の課題をみんなで考える
↓
- 会議や協議会などに参加する
- 市政に直接的に係わる
- 行政情報の公開

まちづくり協議会 市民会議 (JC主催)





市民協働とは

- 地域の課題はみんなで考え、住民自ら解決する
- 自分たちの出来ることは、自分たちの手で
- 行政と市民(町内会・市民活動団体・学校・企業)
役割を分担し
相手を尊重し
連携し合い
みんなの問題を解決

上ところさくら会

美山ふれあい会 相内ひだまり会







なぜ協働なのか

- 地方分権ー小さな自治体への移行
- 既存の住民自治組織(町内会)の衰退
- 町内会を補強するしくみ
- 地域の人と人の絆を取り戻す
- 公平を重んじる画一的な行政システム
- 行政は深刻な財政難に直面している



協働組織の必要性

- 今ある団体組織をつなげネットワーク化
- 共同体として取りまとめる機能
- ヒト・モノ・カネ・情報を流動化
→知縁関係を創る
- 人間関係(信頼・共助・互助)を再構築
=地域共同体(コミュニティ)の再生

仁頃水土里の会 東相内みらいの会 三輪小学区協議会




あなたの地域でも住民協働組織を立ち上げませんか! (北見自治区)
〈住みよいまちづくりは自分たちの手で!!〉
 おおむね小学校区域にある各地域団体がネットワークをつくり、つながりを生かした地域活動を行うのが「住民協働組織」です。



- ◆地域で困っていることへの対応
...除雪、社宅老人の見守りなど。
- ◆住民の交流
...子ども会行事、盆踊り、高齢者サロンや子育てサロンの開設など。
- ◆地域で社会貢献したい
...地域活動のお手伝い、ボランティアの場。

市では、北見自治区内全域での住民協働組織設立を促進するため、平成 23 年度も各地域への働きかけを続けます!興味のある方は、市民協働推進課までお気軽にお問い合わせ下さい!

〈問い合わせ先〉北見市 市民環境部 市民活動推進室 市民協働推進課
 電話: 0157-25-1227



北見テーブルの必要性

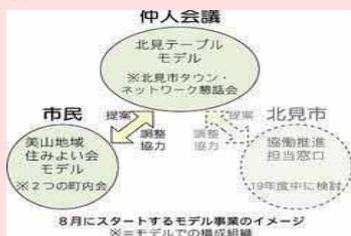
- 行政とのパイプ役
- 話し合いのテーブル
- 単独で解決できない課題
- 知恵や資源を出し合う

モデルの実験 北見テーブル



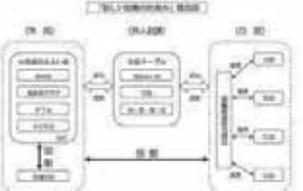
北見テーブルの役割 I

- 地域(又は行政)から課題解決の提案
- 話しあう案件を選択・資料を揃える
- 案件に関連する団体が参画
- 解決策のアドバイスやアイデア




市民テーブルの役割 II

- 協働組織の情報収集と発信
→各団体の活動情報・備品情報
補助金情報など
- 人材育成セミナー・講演会など開催
- 新しく協働組織の立上げ支援




組織の構成

- 協働組織○行政○企業○学校○市民団体
→専門知識・経験をもつ団体や個人
案件ごとに参加者が変わる
- 事務局
- 世話人会





組織の運営

- 世話人会が運営方針を決定
- 重要事項の事前協議
- 会議に参画する個人・団体を公募
- 案件ごとのメンバー調整
- オブザーバーの参加
- 協働組織のチェック




事務局

- 提案の窓口
- 参加者の日程調整・記録など
- セミナー・講演会などの企画
- 交付金等の申請・交付事務
- NPO法人の第三者機関
- 今後の検討が必要



協働組織の課題

- 立ち上げのスピードが遅い
- 相互の連携が不十分
- 行政との情報共有が不十分

↓

- 市民への広報活動
- キーマンとなる人
- ワークショップの開催



市民と行政の役割

<市民>

- まち(地域)を知る→眠っている人材
- 協働に参加する→手を貸さない市民

<行政>

- 職員の意識改革→社会貢献の評価
- 市民のアプローチ→全庁的対応







協働組織発足のために

- 市民への広報・PR
- キーマンの発掘

コミュニティ再生講座のむすびに

- 北見テーブルの設置
- 報告書を市に提出



市民同士をつなげるしくみ

- 市民会議(北見テーブル)の設置
- 活動拠点施設の整備・充実
- 市民活動支援センターの設置
- 協働連絡会議の設置
- 地域情報の発信

